

Ocean Street

コンセプト：幻想的、非現実的な空間

海底がどうなってるかよくわからない → 夢のある場所

海底をイメージした暗い部屋の中に、不思議な海洋生物(約10個)が配置してある。

その一つ一つに光センサーがついていて、来場者がライトで照らすと
反応し動きながら音を鳴らす。(曲または効果音)

光に反応するものの中には、さらに自分から光を放って周りにいる物体を
作動させるものもある。

それによって2つ以上の音が同時に鳴ってハーモニーになる。

リアルな音というよりは、機械的な電子音がいい。シンセサイザーの様な音。

海洋生物は透明度のあるプラスチック製。(内側から光らせるため)
床に置いてあったり天井から吊るされてゆらゆらしてたり、さまざま。

または、

壁や床にセンサーだけを取り付けて、照らされると映像が投影される。
この方が複雑な動きがつけられ、何が出てくるかわからない感がある
が、平面的になってしまう。

体験者だけでなく周りに居る人も、なにが出てくるかわからないわくわく感と、
幻想的な雰囲気と音を楽しむことが出来る。

使用ツール：光センサー、Max/MSP、FLASH

